

WEBPARK 仮想ホスト設定ガイド

第 3.7 版 2026 年 2 月

【ご注意下さい】

1. 本ガイドに記載している内容の一部又は全部を無断で転記することは禁止します。
2. 本ガイドに記載している内容は、サービス内容の変更に伴い訂正場合があります。また、記載している内容についての修正のため、予告なしに変更する場合があります。
3. 最新の情報は、WEB PARK の WEB ページにてご確認ください。

▼ WEB PARK

<https://www.itc.u-tokyo.ac.jp/education/services/webpark/>

版	更新日	備考
第 1.0 版	2013 年 12 月 13 日	新規作成
第 2.0 版	2014 年 2 月 19 日	ドメイン名とパスワード確認方法、補足を追加
第 3.0 版	2014 年 2 月 26 日	2. DNS へのレコード登録について 補足、追加
第 3.1 版	2014 年 3 月 12 日	補足の更新・追加
第 3.2 版	2014 年 8 月 27 日	2. DNS へのレコード登録について 補足、追加
第 3.3 版	2016 年 10 月 21 日	パスワード確認方法を更新 リンクを修正
第 3.4 版	2017 年 10 月 5 日	2.1 登録するレコードの内容 DNS サーバ IP アドレスを修正
第 3.5 版	2018 年 6 月	WEB PARK 広報ページの画像、 リンク情報を変更
第 3.6 版	2022 年 4 月	リンクを修正、 3.ドメイン設定 文言・画像を修正
第 3.7 版	2026 年 2 月	リンクを修正

目次

1. 概要	3
2. DNS へのレコード登録	4
3. ドメイン設定	7
4. 仮想ホストの動作確認	15

1. 概要

WEB PARK は、さくらインターネットが提供するレンタルサーバを利用したウェブホスティングサービスです。本ガイドでは WEB PARK での仮想ホストの設定についてご説明いたします。WEB PARK では webparkNNNN.sakura.ne.jp と park.itc.u-tokyo.ac.jp ドメインにてサイトを公開する設定がデフォルトになりますが、仮想ホスト機能はこれら以外のドメインを使ってサイトを公開するときに便利な機能です。

仮想ホスト機能を使わない場合...

-  ・サイトのURLに「sakura.ne.jp」「park.itc.u-tokyo.ac.jp」が入る
-  ・単一ドメインしか運用できない
-  ・DNS等の設定は不要

<http://webparkNNNN.sakura.ne.jp/>
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/>組織略称



仮想ホスト機能を使うと...

-  ・取得したドメインのURLでサイトを公開できる
-  ・複数ドメイン(マルチサイト)を運用可能
-  ・DNS等の設定が必要

 <http://wp2014.u-tokyo.ac.jp/>

 <http://elearn.u-tokyo.ac.jp/>

 <http://info.u-tokyo.ac.jp/>

2. DNS へのレコード登録

本ガイドでは、追加する仮想ホスト名の例として `www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp` を設定する（つまり、WEB PARK 上に設置した Web サイトを `http://www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp/` で参照できるように設定する）こととします。以降、各自が設定する予定の仮想ホスト名に読み替えてください。

仮想ホストでの利用に当たっては、DNS サーバへのレコード登録が必要となります。上位ドメイン(この例では `ecc.u-tokyo.ac.jp`) の DNS 管理者に DNS レコードの設定を依頼してください。登録すべき内容は、仮想ホスト名の利用状況によって異なります。

なお、DNS の管理者(部局のネットワーク担当者)が不明な場合は、部局または組織のネットワーク担当者一覧として以下のサイトをご参照ください。▼UTNET 部局担当者一覧(学内のみ)

<https://www.nc.u-tokyo.ac.jp/UTnet/tanto>

【注意】

WEB PARK で仮想ホストを設定していた、または他の Web サーバで運用していたサイトを WEB PARK に移行する場合、DNS の設定を変えると旧サーバ上のサイトをインターネット経由で参照できなくなります。

その場合は `/home/webparkNNNN/www/` 配下の領域に移行対象のサイトを構築してから `http://webparkNNNN.sakura.ne.jp/` にアクセスして動作確認を行い、**最後に DNS の設定切り替えを行う**ことを推奨します。（サイトにアクセス制限を設けたい場合は `.htaccess` の設置などをご検討ください。本ガイドでは `.htaccess` の説明は行いません。）

2.1 登録するレコードの内容

DNS サーバ管理者に NS レコードの登録を依頼してください。

NS レコードとしては、さくらインターネット株式会社が保有する 2 台の DNS サーバのホスト名 ns1.dns.ne.jp (61.211.236.1) 及び ns2.dns.ne.jp (133.167.21.1) を登録します。この例では、DNS 管理者に以下の登録を依頼することになります。

```
www.vtest01 IN      NS      ns1.dns.ne.jp.  
www.vtest01 IN      NS      ns2.dns.ne.jp.
```

※上位ドメインの管理の都合などで、NS レコードの登録を推奨しない場合は、2.1.1 と同様に A レコードを登録するか、または次の CNAME レコードの登録を依頼してください。

```
www.vtest01      IN      CNAME      webparkNNNN.sakura.ne.jp.
```

仮想ホスト名をメール等の用途でも使っていると、上記の設定ではメールの配送が正しく行われないケースがあります。その場合、推奨ではありませんが 次の 2.1.1 の設定例を参照してください。

2.1.1 仮想ホスト名をメール等の用途でも使用している場合

以下の 1) または 2) の条件に当てはまる場合は、NS レコードの代わりに A レコードの登録を依頼してください。

1) WEB PARK の仮想ホスト名 (以下の例では www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp) と全く同じ名前で、学内組織向けメールサーバ MAILHOSTING (<https://mh.itc.u-tokyo.ac.jp/>)などのメールサーバを運用している場合。

-- 以下の例では user1@www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp というメールアドレスで、メールサーバを利用している場合に相当します。

-- 例えば、仮想ホスト名が www.ecc.u-tokyo.ac.jp で、メールアドレスとして利用するのが @ecc.u-tokyo.ac.jp のような場合は、同じ名前でメールサーバを利用していることには当てはまりません。但し、次の 2) の条件に当てはまらないかを注意してください。

2) WEB PARK の仮想ホスト名 (以下の例では www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp) を親ドメインとするホスト名 (例えば host1.www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp や

pc2.www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp など) を、サーバやパソコンなどの機器に割り当てている場合

A レコードとして登録すべき IP アドレスは、組織ごとに割り当てられた利用サーバ (webparkNNNN.sakura.ne.jp のようなホスト名。NNNN は組織ごとに異なる 4 桁の数字) の IP アドレスです。nslookup などのコマンドを用いて調べた IP アドレスを、A レコードとして登録するよう依頼してください。この例では、仮に webparkNNNN.sakura.ne.jp の IP アドレスが 192.168.1.1 だとすると、DNS 管理者に以下の登録を依頼することになります。

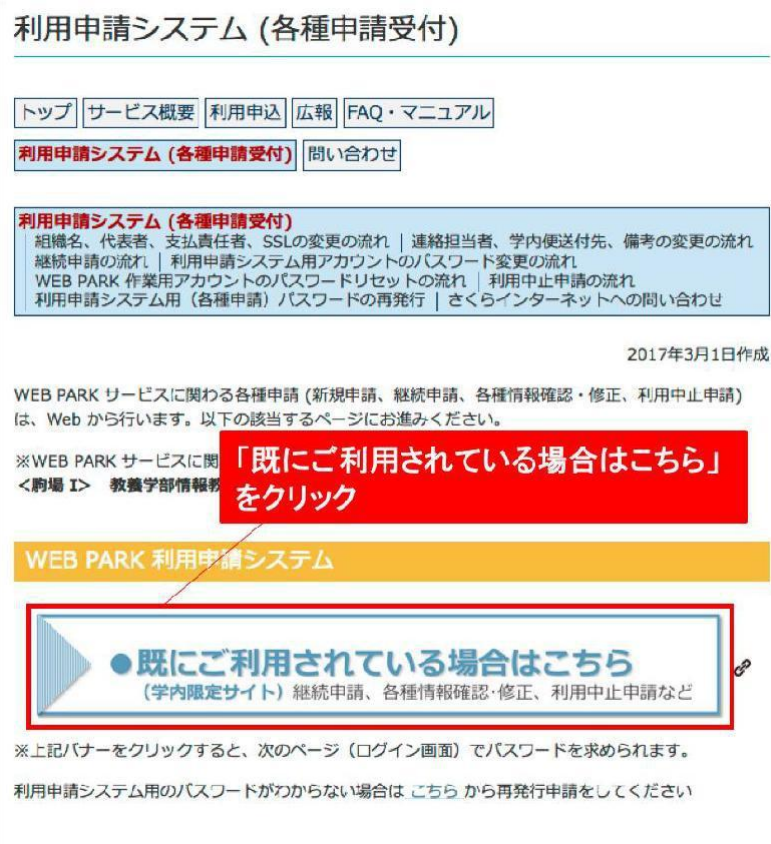
www.vtest01 IN A 192.168.1.1

3. ドメイン設定

ドメイン設定は、さくらインターネットのサーバコントロールパネルにて行います。さくらインターネットのサーバやコントロールパネルにログインする場合に必要な情報は、利用申請システムで確認できます。最初に利用申請システムでの確認方法を説明しますので、既に確認済みの場合は p.10 へ進んでください。

▼WEBPARK 利用申請システムにログインします。

<https://www.itc.u-tokyo.ac.jp/education/services/webpark/apply/>



利用申請システム (各種申請受付)

トップ サービス概要 利用申込 広報 FAQ・マニュアル
利用申請システム (各種申請受付) 問い合わせ

利用申請システム (各種申請受付)
組織名、代表者、支払責任者、SSLの変更の流れ | 連絡担当者、学内便送付先、備考の変更の流れ
継続申請の流れ | 利用申請システム用アカウントのパスワード変更の流れ
WEB PARK 作業用アカウントのパスワードリセットの流れ | 利用中止申請の流れ
利用申請システム用 (各種申請) パスワードの再発行 | さくらインターネットへの問い合わせ

2017年3月1日作成

WEB PARK サービスに関わる各種申請 (新規申請、継続申請、各種情報確認・修正、利用中止申請) は、Web から行います。以下の該当するページにお進みください。

※WEB PARK サービスに関する <劇場 I> 教養学部情報科 「既にご利用されている場合はこちら」 をクリック

WEB PARK 利用申請システム

●既にご利用されている場合はこちら
(学内限定サイト) 継続申請、各種情報確認・修正、利用中止申請など

※上記バナーをクリックすると、次のページ (ログイン画面) でパスワードを求められます。
利用申請システム用のパスワードがわからない場合は こちら から再発行申請をしてください

「●既にご利用されている場合はこちら」をクリックするとログイン画面が表示されます

<UTokyo Account でログインする場合>

WEB PARK 利用申請システム

各種情報変更 UTokyoAccount ログイン

利用申請システムに共通ID（数字10桁）を登録している代表者・連絡担当者の方がログインすることができます。
※利用申請システムに共通IDを未登録の場合、[こちら](#)から組織アカウントにてログインしてください
共通IDを未登録の場合はログインボタンを押しても組織アカウントのログインページに遷移します

「ログイン」をクリック

UTokyo Account ログイン

ログイン

UTokyo Account については [こちら](#)

組織アカウントでログインする場合は「こちら」をクリック

[ログイン](#) をクリックします。

UTokyo Account の ID とパスワードを入力後、[サインイン](#) をクリックします。

※UTokyo Account を未登録の場合、自動で組織アカウントのログインページに遷移します。



**東京大学**
THE UNIVERSITY OF TOKYO

サインイン

Username

Password

サインイン

[パスワード変更・再設定](#)
Change or reset your password

[UTokyo Accountについて](#)
About UTokyo Account

共通ID（数字10桁）とパスワードを入力

組織を選択して **決定** をクリックします。

WEB PARK 利用申請システム
組織選択

選択してください。

組織の略称	組織名
<input checked="" type="radio"/>	

決定

戻る ログイン画面に戻る時は、この「戻る」ボタンを押してください。

組織を選択して「決定」をクリック

<組織アカウントでログインする場合>

「組織の略称」「利用申請システムパスワード」を入力し、**ログイン** をクリックします。

※「組織の略称」「パスワード（初期パスワード）」は別途メールにて送付した通知書に記載されています。ご自身で変更したパスワードを忘れた場合は、再発行を依頼してください。

▼利用申請システム用（各種申請）パスワードの再発行 <https://www.itc.u-tokyo.ac.jp/education/services/webpark/apply/page-701/>

WEB PARK 利用申請システム
各種情報変更 組織アカウント ログイン

組織の略称およびパスワードを入力してください。アルファベットの大文字・小文字は区別します。
※利用申請システムに共通ID（数字10桁）を登録している代表者・連絡担当者の方は[こちら](#)からログインしてください。

組織の略称
パスワード

ログイン

[パスワードが不明な場合](#)

共通IDでログインする場合は「こちら」をクリック

「組織の略称」とパスワード（利用申請システム用パスワード）を入力

東京大学 情報基盤センター WEB PARK 担当
park-support [at] itc.u-tokyo.ac.jp

「各種情報変更」ページが表示されます。

サーバコントロールパネルログイン画面の「ドメイン名」には、利用申請システムの「利用サーバ」に記載の情報を入力します。パスワードが不明な場合には、利用申請システム

の「**変更**」 WEBPARK 作業用アカウント(webparkNNNN)のパスワード再設定」より再

設定申請を行ってください。再設定処理には数日かかる場合がございますのでご了承ください。



利用申請システムで情報を確認できましたら、以下の URL よりサーバコントロールパネルにアクセスしてください。

▼サーバコントロールパネル

<https://secure.sakura.ad.jp/rscontrol/>



- ① ドメイン名：[webparkNNNN.sakura.ne.jp](https://secure.sakura.ad.jp/rscontrol/)
- ② パスワード：上記ドメイン名に対応したパスワード

※[webparkNNNN](https://secure.sakura.ad.jp/rscontrol/) の"NNNN"は組織ごとに割り当てられる 4 桁の数字になります。
各自、割り当てられた数字に読み替えてください。

入力が終わったら **ログイン** をクリックしてサーバに接続します。

コントロールパネルへのログインに成功するとメニュー画面が表示されます。

コントロールパネルトップページ左メニュー **ドメイン/SSL** から **ドメイン/SSL** をクリックします。



ドメイン一覧が表示されますので **ドメイン新規追加** をクリックします。



「他社で取得したドメインを移管せずに使う」の **追加** をクリックします。

ドメインを新規追加

以下の4つの方法より選んで新規追加、又は申し込みして追加してください。

△ ご注意

- 追加したドメインがインターネット全体へ反映されるまでに、数時間～2日程度かかる事があります。
- 選んだドメインに同名レコードがある場合は登録できません。ドメイン設定一覧より削除してください。
- ドメインを追加する事により「www.」が付与されたサブドメインが同時に使用可能となります。
- 他社より転入されたドメインで、さくらのネームサーバへ変更する場合はドメインWHOIS情報のネームサーバ情報の変更が必要となります。
- 他社で取得したドメインを移管せず利用する場合、ドメインWHOIS情報のネームサーバ情報の変更は、ドメインを取得された管理事業者様へご相談ください。
- ネームサーバ情報を変更いたしますと、反映には数時間から48時間程度のお時間が必要となります。反映が完了するまでは一時的にアクセスできない場合がございます。

Step1.
新規申し込み

新規申し込み

さくらインターネット発行の独自ドメインを新規に申し込んで取得/追加します。

ドメインを追加するためにはご契約のレンタルサーバと同じ会員IDでドメイン取得をする必要があります。新規に会員IDを作成してドメインを

他社で取得したドメインを移管せずに使う

追加

他社で取得した独自ドメインと、その独自ドメインのサブドメインを追加することができます。

△ ご注意

- ※さくらのブログでの動作は保障していません。

「他社で取得した独自ドメインの追加」の欄に、追加する仮想ホストのドメイン名 (FQDN) を入力します。(ここでは例として「www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp」を追加します)

入力後 **追加** をクリックします。

他社で取得したドメインを移管せずに使う

キャンセル ✕

他社で取得した独自ドメインの追加

さくらインターネット以外で取得された独自ドメインを追加します。

ドメインを追加する事により「www.」が付与されたサブドメインが同時に使用可能となります。(例) example.jpを追加する事で http://www.example.jp/ での記述の運用が可能)

www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp

追加

① 情報

サーバの設定及びns1.dns.ne.jp及びns2.dns.ne.jpへの登録を行います。ドメインのWHOISに登録されているネームサーバを次のように変更してください。

ネームサーバ1 ns1.dns.ne.jp

ネームサーバ2 ns2.dns.ne.jp

他社で取得されたドメインに関しまして、基本的な設定 (@/www/mail/ftp の4レコード) のみ登録します。お客様でゾーン情報のカスタマイズは許可していません。当社の基本設定では対応できない設定をすでにされているお客様に関しましては、下記のサブドメインの追加からご利用されたいサブドメインのみを追加ください。

これでドメインの追加が完了しました。

【注意】

サーバコントロールパネルで入力する「**ドメイン名**」は**仮想ホスト名の FQDN** です。特に `www.X.Y.u-tokyo.ac.jp` のような仮想ホスト名をお使いの場合に、`X.Y.u-tokyo.ac.jp` を登録することは推奨しません。**`www.X.Y.u-tokyo.ac.jp`** を入力してください。

ドメイン名として `X.Y.u-tokyo.ac.jp` を登録しても、自動的に `www.X.Y.u-tokyo.ac.jp` でウェブサーバを利用可能になりますが、それによって **`user1@X.Y.u-tokyo.ac.jp` 宛のメールが既存のメールサーバに届かなくなる、などの大きな問題が生じる可能性があります**。`X.Y.u-tokyo.ac.jp` を登録することで発生する影響を十分判断できない場合は、`X.Y.u-tokyo.ac.jp` を登録するのはお止めください。

次に仮想ホストへのアクセス時に参照されるディレクトリ（ドキュメントルート）を設定します。

追加したドメインが一覧に表示されていることを確認し、**設定** をクリックします。

ドメイン/SSL

ドメインに関するSSL、メール利用、Webサイト利用の設定ができます。

ラベル凡例
初期ドメイン: 初期

⚠ **ご注意**

- 追加したドメインがインターネット全体へ反映されるまでに、数時間～2日程度かかることがあります。
- ドメインの有効期限はさくらインターネットが発行するドメインのみ表示されます。

< 1 >

追加済み 2/200個 ドメイン新規追加

ドメイン名	SSL	WEB公開フォルダ	メール利用
初期 XXXXXXXXXX 有効期限: -	🔒 共有SSL 有効期限: -	~/www/	全ユーザ ⚙ 設定
www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp	🔒 SNI SSL 有効期限: 2022/6/30	~/www/	全ユーザ ⚙ 設定 SSL

「基本設定」の「Web 公開フォルダ」欄にて、仮想ホストへのアクセス時に参照されるディレクトリを指定します。ここでは例として「/」を入力しています。他の項目はご利用の用途に合わせて設定してください。

入力が完了したら **保存する** をクリックします。

ドメイン設定

基本設定

ドメイン利用設定

☒ マルチドメインとして利用する
マルチドメインを選ぶとドメイン名でアクセスしたとき、指定したフォルダを既定のフォルダとして表示します。以下のURLがご利用いただけます。

- <http://www.sakura3.ecc.u-tokyo.ac.jp>

☐ www.が付与されたサブドメインも利用する
以下のURLがご利用いただけます。

- <http://www.sakura3.ecc.u-tokyo.ac.jp/>
- <http://www.www.sakura3.ecc.u-tokyo.ac.jp/>

☐ さくらのブログで使用する
メールでの使用はできなくなります
SSL利用中のため選択できません

Web公開フォルダ サイト内検索が有効または、初期ドメインの場合、Web公開フォルダの変更はできません。

IPv6アドレスの使用 ☐ 利用する IPv6アドレスの設定変更が反映されるまでに数時間程度かかる事があります。設定されるIPv6アドレスはサーバ情報をご覧ください。

SSLの利用 ☒ SNI SSLを利用する
☐ SSLを利用しない 初期ドメイン、さくらのサブドメイン、SNI証明書未登録のドメインではSNI SSLをご利用いただけません

SPFレコードの使用 ☒ 利用する メールを送信するドメインを認証するためのSPFレコードを追加・削除します。SPFレコードの設定変更が反映されるまでに、数時間程度かかる事があります。

保存する

ドメインを削除

⚠ ご注意

- 共有SSL、SNI SSL、Webアプリケーションファイアウォールを利用しているドメインは削除できません。ドメインを削除する前に各機能の設定を解除してください。

🗑 削除

これでドメインの設定は完了です。

次の章では仮想ホストの動作確認を行います。

4. 仮想ホストの動作確認

前章でマルチドメインの対象フォルダとして設定したディレクトリ（ドキュメントルート）に html ドキュメントを置いて、ブラウザでアクセスしてみましょう。

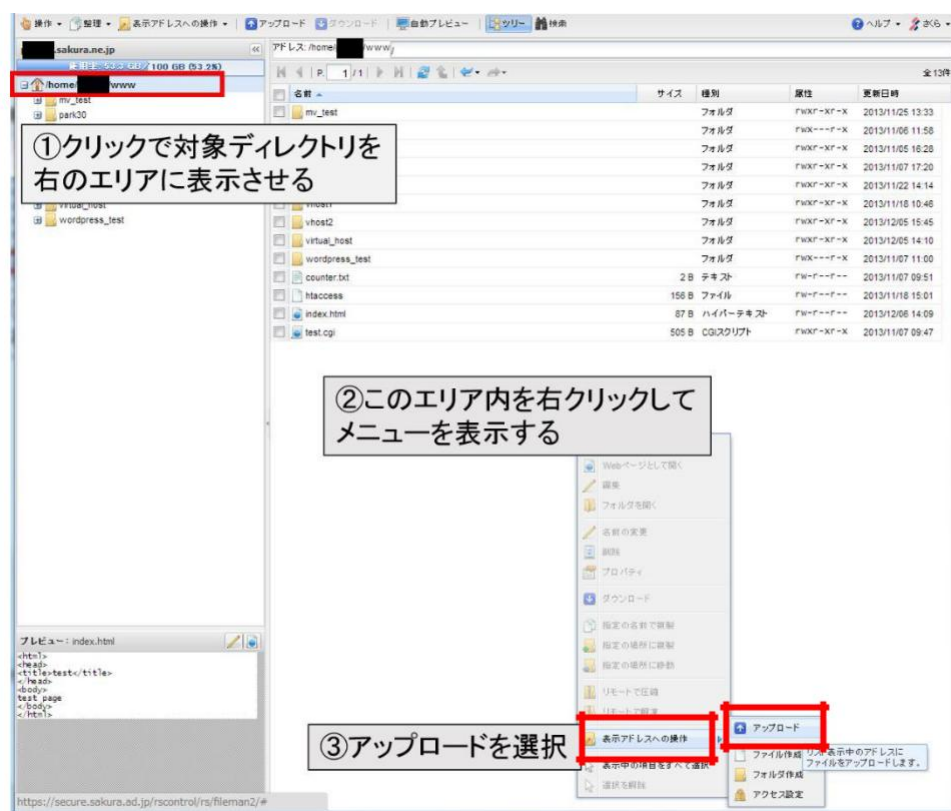
ここでは [http://\[設定した仮想ホスト\]/](http://[設定した仮想ホスト]/) というアドレスにアクセスして、設置した Web サイトが表示されることを確認します。

今回の例では `/home/webparkNNNN/www/` を仮想ホスト用のディレクトリ（ドキュメントルート）に設定しているため、`/home/webparkNNNN/www/index.html` を確認用に設置しました。

※webparkNNNN の”NNNN”には各ユーザに割り当てられた 4 桁の数字が入ります

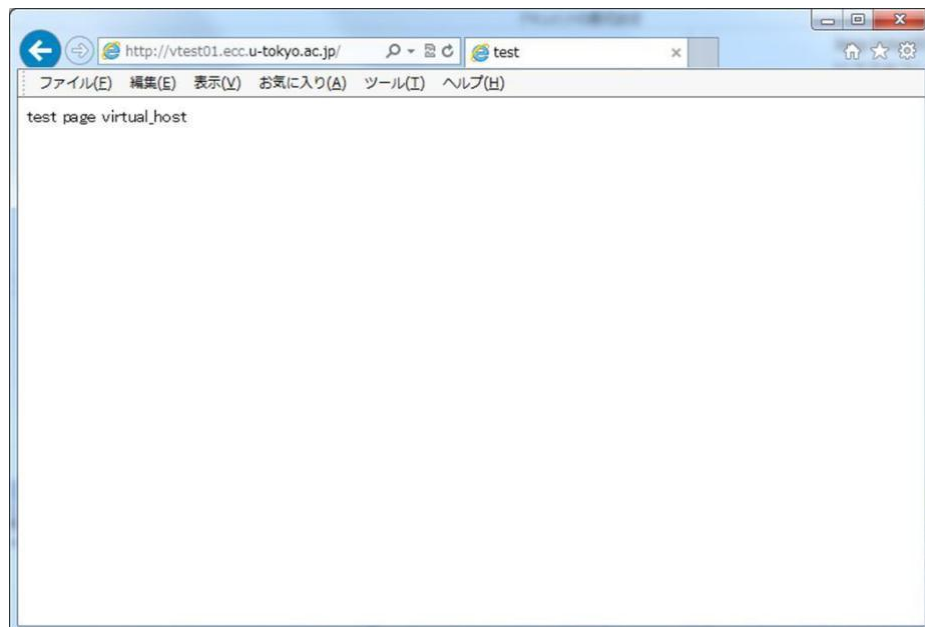
以下の図ではサーバコントロールパネルからファイルマネージャーを起動した画面です。右側空白エリアの右クリックからファイルを新規作成できます。また、ローカル PC からのアップロードも可能です。今回は手元の PC にメモ帳等で index.html を作成してアップロードしました。

ここに置いた index.html は「test page virtual_host」とだけ表示するシンプルな html ドキュメントです。



設置が終わったら Web ブラウザで

<http://www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp/>にアクセスして、実際に設置したトップページが表示されるか確認します。



問題無くトップページが表示されました。これで設定作業は完了です。

補足 1 :

本ガイドでは単一サイト（ドメイン）の仮想ホスト設定例を紹介しました。手順を単純化する都合上ドキュメントルートは /home/webparkNNNN/www/ に設定していますが、ドキュメントルートは www 配下の任意のディレクトリに設定していただいてもかまいません。特に複数のドメイン（マルチサイト）を運用される場合は、www 配下に適当なディレクトリを作成してそこをドキュメントルートに設定してください。

ディレクトリの作成にはサーバコントロールパネル内のファイルマネージャーが便利です。ファイルマネージャーの使用方法についてはヘルプ（下記サイト）をご参照ください。

<https://help.sakura.ad.jp/hc/ja/articles/206207001>

補足 2：

DNS 関連の情報については、WEB PARK WEB ページ「[FAQ・マニュアル](#)」でもご確認ください。

Q1: <http://www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp/> という URL でウェブサイトを構築したいが、さくらインターネットのサーバコントロールパネルの「新しいドメイン追加」のページの「ドメイン名」には何を入力すれば良いですか？

A1: www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を入れることを推奨します。特に

- ・ [xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp](http://www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp/) というドメインを管理する DNS サーバが存在する
- ・ user1@xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp のメールアドレスで、MailHosting など WEB PARK 以外のメールサービスを利用

といった場合は、必ず www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を入力してください。

なお、DNS に登録すべき内容については、Q2 をご参照ください。

Q2：仮想ホストを使う場合は DNS に何を登録すればよいですか？

A2：さくらインターネットのレンタルサーバのサービスにおいては、利用開始時から登録されている初期ドメインとは別に独自ドメインを追加する場合に相当します。

ただし、同一のホスト名(ドメイン名)で、MAILHOSTING 又は他のメールサーバをお使いの場合は Q3 をご参照下さい。

Q3：MAILHOSTING 又は他のメールサーバでメールアドレス (@ より右の文字列) として使っている xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を、WEB PARK の仮想ホスト名 (仮想ドメイン) として利用できますか。利用できる場合はどのように DNS に登録すれば良いですか。

A3: 利用できますが、**あまり推奨しません。**

以下の例や、さくらインターネットのマニュアル「[【ドメイン設定】他社で取得・管理中のドメインを利用](#)」を参考に DNS 登録処理などをお願いいたします。

【例】xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を使う場合

さくらインターネットのマニュアル「[【ドメイン設定】他社で取得・管理中のドメインを利用](#)」では、yyy.u-tokyo.ac.jp の DNS サーバに xxx の NS レコードとしてさくらインターネットの 2 つの DNS サーバを登録することが推奨されています。

WEB PARK と他のメールサーバを使う場合は、NS レコードの代わりに以下の登録を DNS サーバ管理者に依頼してください。

- ・ A レコードとして、利用サーバの IP アドレスを登録してください

(利用申請システムにおいて、ご利用のサーバ情報として表示されるホスト名より IP アドレスを nslookup コマンド等でご確認ください)。参考：

「サーバ情報の確認方法」

「[■自分の PC などアクセス制限を行っています。さくらインターネットで割り当てられたサーバの IP アドレスを許可したいのですが、許可する IP アドレスを教えてください](#)」

- ・ MX レコードとして、お使いのメールサーバのホスト名を登録してください。

なお、WEB PARK で利用しているさくらインターネットのレンタルサーバでは、登録した独自ドメイン宛のメールを受け取る機能が自動的に有効になり、これを無効にする方法がありません。

前記で示したように、上位ドメインの DNS サーバで MX レコードとしてお使いのメールサーバを登録することで、通常インターネット上から送られてくるメールはメールサーバに届きます。

しかし、お使いのサーバ上で動作する sendmail プログラムを用いたメール送信時には、そのメールが当該サーバ上に送られます。

例えば、メールフォーム (ウェブサーバにアクセスした利用者に対して問い合わせなどを

入力させ、その内容を管理者にメールで送信する仕組み) などの CGI では sendmail プログラムを使う場合があるため、メールが届かない場合があります。

補足 3 : NS レコードの登録について

WEB PARK のサービスでは、仮想ホストの利用にあたって NS レコードを DNS サーバに登録することを推奨します。一方技術的には、仮想ホストに対応するレンタルサーバの IP アドレスを A レコードとして登録することも可能です。

この点について、情報基盤センターとしての立場をご説明します。

レンタルサーバのサービスは、一式のハードウェア上の物理的なサーバを、仮想的に複数のレンタルサーバに分割することで実現されています。各レンタルサーバに割り振っている IP アドレスが、運用中に変更されたことがないとの報告をさくらインターネットから受けています。

しかし、メンテナンスなどの目的でレンタルサーバの IP アドレスを変更しないことが、将来に亘って保証されるものではありません。IP アドレスの変更は大きな影響があるため、何らかの事前連絡が行われるとセンターでは考えていますが、仮に連絡があったとしても A レコードで仮想ホストを利用する場合は、DNS サーバの登録内容の変更が多数発生する懸念があります。

このような状況を踏まえて、情報基盤センターでは原則としてさくらインターネットが標準的に示す NS レコードでの登録を推奨しています。

なお、「2.1 仮想ホスト名を含むホスト名やドメインを他の用途に利用する場合」で示したように、NS レコードの登録が WEB PARK 以外のサービスを利用できない場合や、上位ドメインの管理上のポリシーで NS レコードの登録ができない場合は、A レコードでご登録ください※。

※ レンタルサーバの IP アドレスが変更になった時、DNS の変更が必要になります